



平成22年第1回市議会定例会

施政方針の概要



薩摩川内市 岩切秀雄 市長

2月24日(水)、平成22年第1回市議会定例会で、岩切秀雄市長が述べた市政に関する考え方や方針の概要を紹介いたします。なお、全文は市ホームページに紹介しています。

さらなる積極的な 施策展開を

本年度は、第1次薩摩川内市総合計画下期基本計画がスタートする年であり、本市にとつて大きな節目となる1年と考えております。経済不況対策、少子・高齢化対策や新幹線全線開業の対応などについてさらなる積極的な施策展開を図ること、川内原子力発電所3号機および県産業廃棄物管理型最終処分場に対する適切な判断を行うことが大きなテーマと考えております。この課題も全身全霊を込めて職員と一丸となり対処する所存でありますので、何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

本市をめぐる 最近の動き

■商店街情報表示板

1月28日から、太平橋通り商店街アーケードに設置した12台の情報表示板が運用を開始いたしました。今後、地元商店街が中心となり、イベント・催し物の情報を始めとする商店街の魅力が大いに発信されていくものと期待しております。



商店街情報表示板運用開始式

■スポーツ合宿・キャンプ誘致

千葉ロッテマリーンズのファームの春季キャンプが7年連続で実施されました。球団代

表より来年度からは1次キャンプから約1カ月間、本市に滞在するとの約束をいただきましたので、今後も引き続き施設の充実を図りながら、スポーツ合宿・キャンプの誘致を積極的に推進してまいります。



千葉ロッテマリーンズ歓迎セレモニー

■川内原子力発電所 1号機事故

川内原子力発電所1号機のタービン建屋において、死傷者を出す残念な事故が発生いたしました。まずもって、ここに亡くなられた方の御冥福と残された御遺族の方々に哀悼の意を表するものであります。また、負傷された方々の1日も早い回復を心からお祈り申し上げます。

■県産業廃棄物 管理型最終処分場

1月15日、建設に向けた基本計画が決定されました。私としては、引き続き、県に対して地元住民の理解に向けた取り組みや情報公開の徹底などを求めながら意見交換を行ってまいります。

予算の大綱

平成22年度当初予算につきましては、雇用創出や地域経済対策など喫緊の行政課題への最大の配慮に努めたところであります。

歳入面では、普通交付税において、「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設に伴う増額などを見込んだほか、国県補助金などについても、特に、各種の制度改正や補助採択の動向などを注視しながら、現時点において最大限可能な額を計上したところであります。一般会計当初予算の規模は498億8千万円、簡易水道など16の特別会計の合計で279億2836万円となりました。

むすび

近年、高齢社会となり生活習慣病対策が急務となっております。中でもがん対策は大きな課題であり、国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる時代であります。本市でも例外ではなく、市民の健康増進の一環として6種類のがん検診を実施しておりますが、受診率は非常に低い状況であり

ます。私も「本市からの前立腺がん検診のすすめ」の通知を受け取り、自覚症状もない中、昨年8月、軽い気持ちで受診しましたところ前立腺がんと診断され、手術を受けました。今回、現代の医療技術のすばらしさと、「早期発見・早期治療」の重要性を身をもって実感できましたので、今後、市民の皆様に対して、がん検診を積極的に受診されるよう声を大にし、訴えてまいります。

また、先般、私のマニフェストの進捗状況を「市長マニフェスト工程表」として取りまとめ、公表いたしました。26のマニフェスト施策に対して、市民の皆様にはわかりやすい100の目標指標を設定して諸事業を展開しておりますが、この2月1日時点では、26施策全てに着手し、その達成度は2月1日現在で15パーセント、平成21年度末見込みで24パーセントであります。引き続き、計画しました達成工程により、平成24年度末までは100パーセント達成を目指して取り組む所存でありますので、市民の皆様のお一層の御指導・御鞭撻を賜りたいと存じます。

本年度の施策概要

①ゴールド集落

高齢化率が50パーセント以上のいわゆる限界集落を「ゴールド集落」と名付け、今後、地域住民一人ひとりが光り輝き、生き生きとした活気あふれる集落に再生するため、定住促進や活性化事業、耕作放棄地の解消など総合的な特別措置を講じ、住民が誇りを持ち安心して住み続けられる地域づくりを推進いたします。



ふれあいいきいきサロン

②子育て支援

中学校修了までの医療費を無料化する「子ども医療費助成事

業」をスタートさせます。同様に創設される「子ども手当支給事業」や、引き続き取り組む待機児童解消などの各種事業と併せて子育てしやすい環境づくりを推進してまいります。



育児リフレッシュ事業「すくすくランド」

③観光・交流

新幹線全線開業がいよいよ来年3月と正式に発表されましたので、この4月からシティーセールスを本格的に総合展開してまいります。川内駅により多くの乗客に降りていただくことはもちろんですが、職員のみならず市民一人ひとりが、薩摩川内に「行きたい・買いたい・暮らしたい」とアピールを担うような機運の醸成にも努めてまいります。



新800系新幹線「つばめ」

④交通・通信

難視聴地域解消事業、地域巡回バス運行事業、入来地域デマンド交通と市内横断シャトルバスの実証運行を行い、地域格差の解消を推進します。

⑤社会基盤

通学路防犯灯設置事業、向田地区水辺再生事業、榑島地域社会体育施設改修事業などに新規に取り組みながら、防災行政無線の戸別受信機の設置を進め、橋梁の維持補修や公営住宅および公園の長寿命化を図ります。